最終処分場の延命化は

問　最終処分場の延命化を図るための取り組みは。

答　平成十五年度から焼却灰をリサイクル処理しており、平成十七年度からは、埋立ごみ再処理事業により、埋立量の減量を図っている。その結果、最終処分量は、一般廃棄物処理基本計画の平成二十二年度の計画目標に近づいている。さらに、現在埋立処分している焼却飛灰のリサイクル処理により、最終処分場のさらなる延命化が図られる。

高効率給湯器導入補助事業を実施する考えは

問　二酸化炭素排出量の削減や経済効果が期待される高効率給湯器導入補助事業を実施する考えは。

答　地球温暖化を防止する上で、家庭から排出される二酸化炭素の削減は、エコ活動の重要な取り組みの一つである。このため、静岡県地球温暖化防止活動推進センターと県内の住宅建設・住宅リフォーム事業者、省エネ設備業者等が平成二十年末に設立した静岡県エコリフォーム推進協議会を通じ、家庭での高効率給湯器の設置を含む省エネ改修などに対する国の助成制度を積極的に活用し、省エネルギー機器の普及を図っていく。また、今後、本市独自の補助制度についても研究していきたいと考えている。

ぬまづ健康福祉プラザの喫茶スペースの位置づけは

問　ぬまづ健康福祉プラザ内に設置されている喫茶スペースについて、その位置づけと民間事業者による目的外使用を許可した経緯は。

答　本プラザ内の喫茶スペースについては、隣接する展示スペースとあわせ、さまざまな交流が生まれる場として、また、障害のある方などの社会参加の場としても位置づけている。喫茶スペースを市民の主体的な活動の場として活用するためには、民間活力の導入によるサービスの提供が必要であると考えたことから、沼津市行政財産の目的外使用に関する条例に基づき、民間事業者による目的外使用を許可している。

補正予算

〈一般会計〉

今定例会では、二回の補正により三十六億七千九百四十九万五千円が追加され、その結果、予算総額は七百四十七億千八百二十七万九千円となりました。

補正予算（第六回）は、三十四億九千七百万円を追加したもので、内容としては、定額給付金給付事業費三十三億三千七百万円などが主なものです。財源としては、特定財源のほか、一般財源として基金繰入金をもって充てるものです。

また、補正予算（第七回）は、一億八千二百四十九万五千円を追加したもので、内容としては、静岡東部拠点土地区画整理事業費二億七百四十五万円の追加、既往債利子二億三千四百四十九万千円の減額などが主なものです。財源としては、それぞれの特定財源のほか、一般財源として市民税などをもって充てるものです。このほか、繰越明許費として鉄道施設移転事業七千二百九十四万円など十三事業を追加するものです。

〈特別会計〉

国民健康保険事業は、一億二千六百九十万八千円を減額するもので、その結果、予算総額は二百十七億九千三百三十三万三千円となりました。内容としては、介護納付金一億四千七百二十八万四千円などを減額するものです。

介護保険事業は、八千九百九十二万二千円を追加するもので、その結果、予算総額は百七億三千四百三十一万八千円となりました。内容としては、介護従事者処遇改善臨時特例基金積立金を追加するものです。

〈企業会計〉

病院事業は、収益的収入において他会計負担金七千八百万円及び他会計補助金八千二百万円を追加するものです。

水道事業は、地震対策事業に対する補助金として、収益的収入において五百二十三万二千円、資本的収入において七百二十九万八千円をそれぞれ追加するものです。

下水道事業は、資本的支出において企業債償還金四百六十五万円を追加するものです。